

令和5年(2023年)度年間授業計画表									
学年	2年	科・系	食料環境科	単位	2[1]	教科	農業	科目	総合実習
使用教材	なし								
学習目標	① 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ② 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ③ 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。								
単元と内容									
1学期	農業クラブ説明会・意見発表会・校内農業鑑定競技会・刈払機講習会・学科集会 ＜加工＞食品加工とは・食品衛生法とHACCAP・加工実習 ＜環境＞刈払実習・植物園整備実習				・食料環境科について理解する。				
					・農業クラブの各種競技会や発表会に取り組む。				
					・加工実習や刈払実習で、基本的な知識や技術を身に付ける。				
2学期	畜産宿泊実習・プロジェクト発表会 ＜加工＞規格外果樹の加工・パン製造・微生物について ＜環境＞刈払実習・植物園と学校林の整備・森林について、校内花壇整備				・規格外農産物の現状や活用について理解する。				
					・食品製造における、微生物の働きについて理解する。				
					・森林の役割を理解し、必要な管理を行なう。				
					・家畜飼育や生産物の実際を理解し、飼養管理を体験する。				
3学期	意見発表会クラス予選・食料環境科研究発表会 SDGsについて ＜加工＞食の安全、安心・実験器具と使用方法 ＜環境＞測量について・ドローン操縦体験				・研究発表会を経て、次年度の研究テーマを考える。				
					・SDGsについて理解し、身近なところから問題や取り組みを考える。				
					・次年度の学習内容の概要を把握し、系統毎の学習のステップとする。				
評価									
評価の観点			評価の趣旨						
①	知識・技能		農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術が身に付いている。						
②	思考・判断・表現		農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして合理的かつ創造的に理解している。						
③	主体的に学習に取り組む態度		農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度が身に付いている。						
評価方法	①		②			③			年間時数
	定期テスト 授業時のプリント 実技テスト 農業鑑定競技会		定期テスト 提出物 意見発表会 プロジェクト発表会			授業の取組(態度、出席状況) 定期テストの復習			予定
									70[35]
									時間
								1単位＝35H	
置賜農業育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献							